

初代学部長に宮原氏

来春開設の現代ビジネス学部

宮城学院女子大

宮城学院女子大(仙) 最前線力を発揮する
台市青葉区)はこのほ 女性が社会に求められ
と記者会見を開き、来 ている」とし「生産も
年4月に開設する「現 流通も消費も、さらに
代ビジネス学部」の概 文化や芸術、レジャー
要を発表した。初代学 にならざるを得ない
部長には観光や産学官 要素がビジネス化され
連携に詳しい宮城大事 ている。新聞の経済面
業構想学部(大和町) を読み解ける人材を育
の宮原育子教授の起用 てながら、多くの企業
が内定。このほか6人 に人材育成にかかわっ
の新規教員を迎える。 てもらいたい」と意気
定員は95人で、10月か 込みを述べた。
ら推薦入試の出願を受 現代ビジネス学部で
け付ける。 は1、2年次に経営組
記者会見で平川新学 織やマーケティング、
長は「女性の大半が生 商品流通、簿記、ビジ
涯労働する時代に突入 ネス英会話などビジネ
しており、ビジネスの スの土台を学び、2年



記者会見する平川学長(中央)

© 株式会社大崎メディア

途中から「観光」「国際」
「地域」の3分野でフ
ロジェクト型実践研究
に取り組み。県内の旅
行代理店や温泉組合、
飲食店などと連携し、
旅行プランの企画や集
客イベント、スイーツ
開発などが予定されて
いる。
学部長の宮原氏は宮
城大時代、下駄履きで
鳴子の温泉街を散策す
ると協賛する温泉や飲
食店でさまざまなサー
ビスを受けられる「街
を歩けば下駄も鳴子」
を提案して現在も取り
組みが続いているほ
か、鹿島台商業高のキ
ャリア教育や松島町の
総合計画策定にも携わ
っている。
定員95人のうち、フ
レゼンなどがあるAO
入試5人、推薦入試45
人、一般入試A日程前
期22人、A日程後期10
人、B日程4人、セン
ター試験利用入試で合
わせて9人を採用する
計画。既存の学部・学
科を再編した「教育学
部」「生命科学部」「学
芸学部」でも学生を募
集している。
現代ビジネス学部は
8月27日に大学設置・
学校法人審議会から設
置を可とする答申があ
り、31日に文部科学省
から正式に認可され
た。10月9日午後1時
からは記念シンポジウ
ムが宮城学院女子大で
開かれる。